

会社情報 Corporate Data

会社概要 (2024年9月30日現在)	
名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー商品販売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,127名

取締役・監査役及び執行役員 (2024年12月20日現在)

代表取締役	加藤 和 弥	取締役	大西 高 司
取締役	中村 考 直	社外取締役	八十川 祐 輔
取締役	日比 啓 介	社外取締役	海保 理 子
取締役	次家 成 典	社外取締役	青木 英 彦

監査役	常勤監査役	池村 昌 人	社外監査役	山村 幸 治
			社外監査役	中村 明日香

執行役員	社長執行役員	加藤 和 弥	執行役員	明石 誠
	専務執行役員	中村 考 直	執行役員	和田 陽 一
	専務執行役員	菅 公 博	執行役員	金子 潤 一
	常務執行役員	日比 啓 介	執行役員	井原 太 郎
	常務執行役員	打田 雅 俊	執行役員	中谷 勤
	上席執行役員	次家 成 典	執行役員	合田 恭 典
	上席執行役員	大西 高 司	執行役員	田中 英 治
	上席執行役員	松村 努	執行役員	中川 吉 明
	上席執行役員	高瀬 健 治	執行役員	矢部 章 一
			執行役員	白石 宗 太郎

主要グループ会社 (2024年9月30日現在)

事業内容	会社名	
国内	低 温	◎ ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類	◎ 三陽物産株式会社
		◎ ヤタニ酒販株式会社
	菓 子	◎ 加藤菓子ホールディングス株式会社
		◎ カトー菓子株式会社
	◎ 株式会社植嶋	
卸売業		◎ Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.
	マレーシア	◎ Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
		◎ Merison (M) Sdn. Bhd.
	シンガポール	◎ Teo Soon Seng Pte. Ltd.
		◎ Naspac Marketing Pte. Ltd.
海外		◎ Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.
	ベトナム	◎ Song Ma Retail Co., Ltd.
		◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.
	◎ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	
中 国		○ 上海加産貿易有限公司
		△ 深圳華新創展商貿有限公司
物 流		◎ マンナ運輸株式会社
		◎ カトーロジスティクス株式会社
メ ー カ ー		◎ 株式会社グリーンウッドファクトリー
		◎ 和歌山産業株式会社
外 食		○ 株式会社アドバンス・キッチン

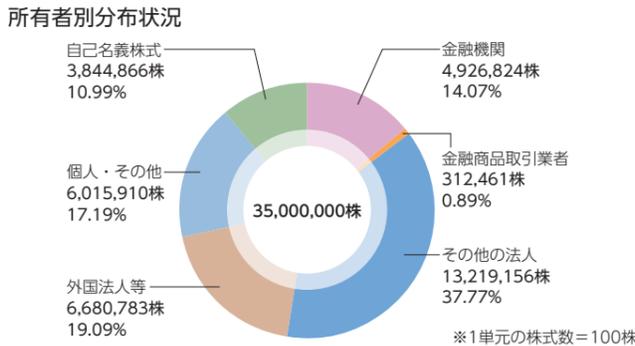
◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式情報 (2024年9月30日現在) Stock Information

株式の状況	
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株
株 主 数	6,668名 (内、単元株所有者数：6,166名)

大株主 (上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,288	10.55
三井物産株式会社	1,576	5.06
株式会社プラスダブル	1,280	4.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	903	2.89
三菱商事株式会社	893	2.86
株式会社加藤興産	850	2.72
キューピー株式会社	841	2.70
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.69
カゴメ株式会社	731	2.34
JP MORGAN CHASE BANK 385632	721	2.31

※当社は自己株式3,844,866株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
※持株比率は自己株式(3,844,866株)を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日 9月30日
中間配当金受領株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年12月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同 連 絡 先 (お問い合わせ先)
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話(通話料無料)0120-094-777

公 告 方 法 電子公告の方法により行う
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)
※公告掲載URL
<https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.katosangyo.co.jp/>



第78期 報告書

2023年10月1日から2024年9月30日まで



証券コード：9869

Mission	Vision
私たちのミッション(使命)は、 食の生産の源となる自然の恵みを大切に、 誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、 季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、育むことで 家族の団らん・人々の絆を強め、健康で健全な生活に貢献するような 「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することです。	私たちのミッションを達成するための 長期ビジョン(未来像) 「食のインフラ」になる 「食のプロフェッショナル」になる 「食のプロデューサー」になる

株主の皆さまへ To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

食品流通業界では、食生活や生活者の購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格等の上昇に一巡感が出てきたものの、高水準な賃上げによる人件費の上昇や物流の2024年問題等によりコストアップの流れが再燃し、今後も商品の継続的な値上げが想定されます。また、生活者の所得環境の改善が期待される一方、商品やサービスの値上げに対する負担感がさらに増すことで、節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが強まり、日常の生活関連消費は生活防衛意識が一層強くなると予想されます。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術の活用も含めて取引先との取り組み関係をより一層強化し、顧客に対して価値創出活動を推進することで、営業機能を強化してまいります。加えて、自社ブランド商品については、商品開発や販促施策、生活者との接点作り等においてブランド価値を上げながら拡販し、収益性の向上を図ってまいります。一方、物流費をはじめとした諸経費は、物流関連企業との連携強化や機械

化・デジタル化の推進等により、全ての業務を見直して生産性を向上させ、コストの抑制及び経営の効率化を進めてまいります。当社グループの成長戦略の一つである海外事業では、特にマレーシアにおいては同国最大級、ベトナム及びシンガポールにおいても同国で有力な卸売業グループとして、日本を含めたアジア地域における食品流通事業のさらなる拡大を進めてまいります。

サステナビリティの取組みについては、『毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける』をスローガンに、サステナビリティ委員会が中心となり活動を推進し、4つのマテリアリティ(重要課題)の解決に取り組んでおります。また、地球温暖化による気候変動は当社グループのビジネスに留まらず、人々の生活にも大きな影響を及ぼすため、事業活動で排出されるCO₂の削減を進めております。さらに、TCFDの枠組みを活用して気候変動によるリスクと機会を特定し、当社グループへの影響を分析したうえで、その対応を進め、持続可能な社会の実現に貢献するとともに永続的な企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長執行役員 加藤 和 弥

第78期 連結決算ハイライト

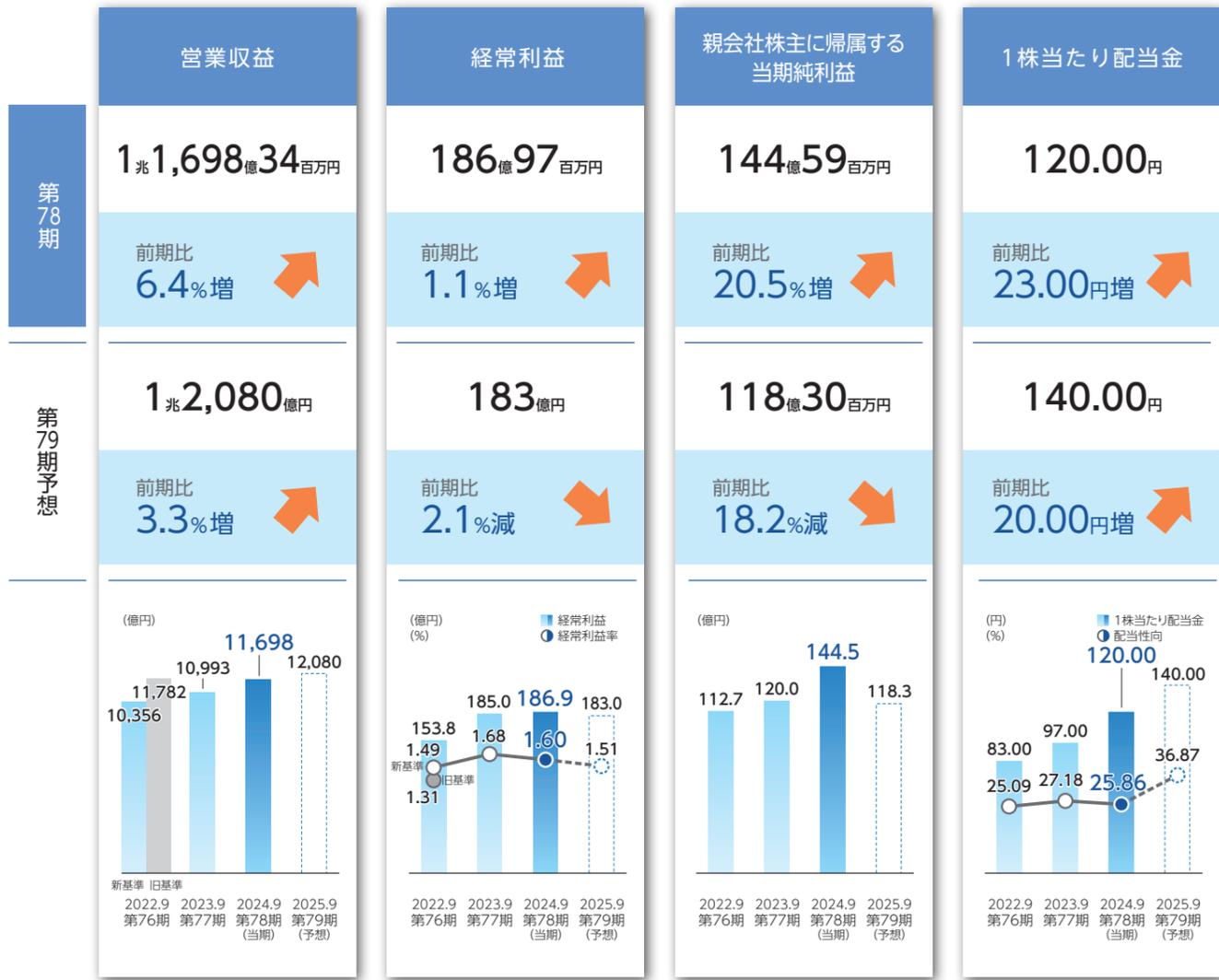
Consolidated Financial Highlights

詳細は、当社ホームページに掲載されている「株主・投資家情報」をご覧ください。

<https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>



既存得意先を中心とした取引の増大に加えて、外食関連需要の回復による取引の増加により増収となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益等により、増益となりました。



※2022年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。2022年度は適用前と適用後の数値を併記し、2023年度以降は適用後の数値のみを記載しております。

主要な事業の概況

	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業
営業収益	7,170億15百万円 (前期比5.2%増加)	1,143億64百万円 (前期比1.6%増加)	2,452億11百万円 (前期比8.0%増加)	893億28百万円 (前期比19.6%増加)
営業利益	130億29百万円 (前期比0.1%減少)	12億83百万円 (前期比28.2%増加)	19億74百万円 (前期比10.6%増加)	△2億3百万円 (前期は営業利益2億94百万円)

※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。
※営業利益は、のれん償却費等を含んでおります。

ニュース クローズアップ News Close-up

当社の取組み・詳細情報については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.katosangyo.co.jp/>



株主還元(配当)方針の変更

- 当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と認識し、収益力の向上と財務体質の強化を図りながら、安定的かつ業績に見合った累進配当政策*1を採用し、原則として1株当たり20円を上限とする増配を毎年継続的に実施*2することで、配当性向を段階的に40%まで引き上げる目標としました。
 - 自己株式の取得については、資本効率の向上も勘案して、当社の業績や資本の状況、株式市場の状況など総合的に判断し、必要に応じて機動的に実施します。なお、保有する自己株式については、将来的な活用方法など総合的に判断し、必要に応じて消却を実施します。
- ※1：原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う政策
※2：開始時期は2025年9月期より

TCFDの枠組みを活用した気候変動に関する情報開示

- 当社グループは全国で食品卸売業を展開すると同時に、サステナビリティ活動を進めております。地球温暖化による気候変動は当社のビジネスに留まらず、人々の生活にも大きな影響を及ぼすため、事業活動で排出されるCO₂の削減を進めております。
- この度、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の枠組みを活用して気候変動によるリスクと機会を特定し、当社への影響を分析したうえで、その対応策をまとめ、8月に当社コーポレートサイトにて開示しました。
- 今後も、マテリアリティである「脱炭素」「フードロス&ウェスト」「資源循環」「多様な人財の活躍」の4つの課題解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

「カンピーザ・プレミアム 芳醇果実シリーズ」を新発売

- ジャムの新しい市場を創造すべく、自社ブランド「カンピーザ・プレミアム」から新たに「芳醇果実シリーズ」を2024年9月より全国一斉発売しました。
 - 果実と果汁を贅沢に使用したフルーツ感あふれる、プレミアムタイプのジャムです。果実含有率2倍*、果実の自然な甘みを引き出した糖度45度の低糖度タイプで、フルーツ本来の芳醇な味わいをお楽しみいただける1品です。
- ※当社従来商品比較

カンピーザ・プレミアム 芳醇果実



ストロベリー

ブルーベリー

フルーツパーラー

株主優待

毎年3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主さま1名につき、当社オリジナル製品1セットを贈呈いたします。

所有株式数100株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
 - オレンジマーマレード
- (各320g) **2,700円相当**



所有株式数1,000株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
 - オレンジマーマレード ●株主優待 特別限定品
 - ピーナッツバター(種子島産粗糖使用)
- (ジャム各320g、ピーナッツバター150g) **5,000円相当**

